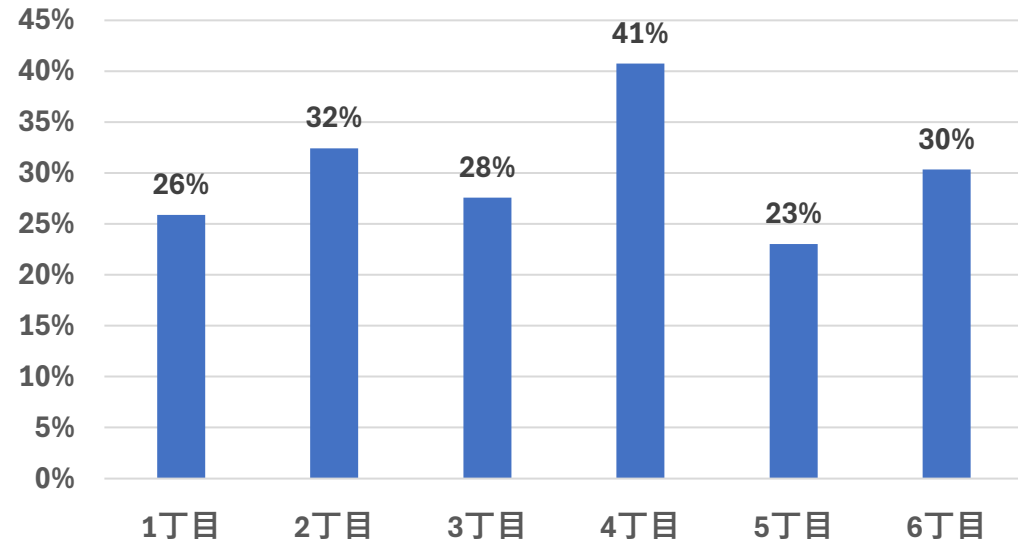


# 青山の今後のまちづくりに関する アンケート結果

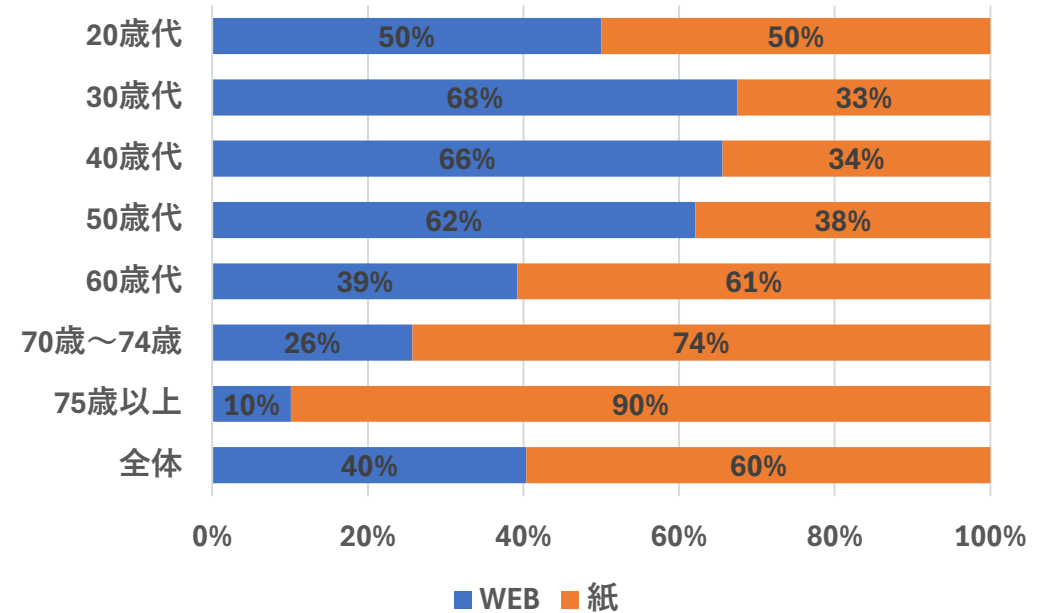
# 調査概要

- 実施目的：青山地区内の生活に関するニーズやみらまち緑が丘・青山推進機構への期待の把握
- 調査対象：青山地区内に居住している住民
- 回答期限：2024年11月18日
- 回収方法：所属ブロックのブロック長へ提出、各丁目会長は公民館へ提出
- 回答者数：558人（回答率 29%）

## ■ 丁目ごとの回答率



## ■ 回答方法

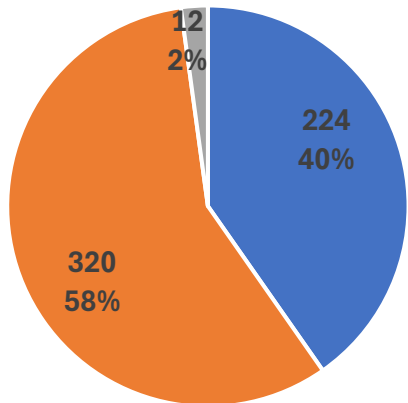


# 回答者属性

- 性別は男性4割・女性6割、年齢は50歳代以上が約8割であった
- 居住地は1丁目～6丁目まで満遍なく回答が得られており、30年以上居住する人がおよそ半数を占める

## 性別

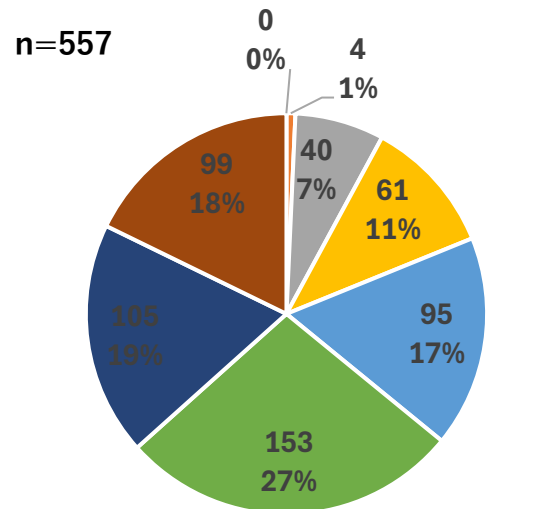
n=556



■ 男性 ■ 女性 ■ 回答しない

## 年齢

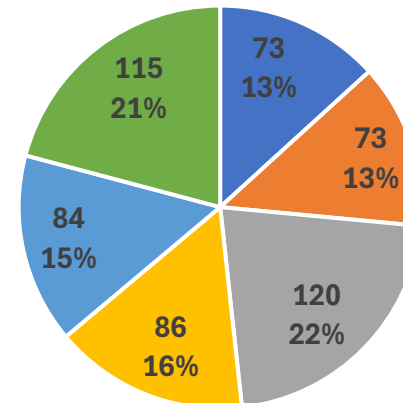
n=557



■ 10歳代 ■ 20歳代 ■ 30歳代  
 ■ 40歳代 ■ 50歳代 ■ 60歳代  
 ■ 70歳～74歳 ■ 75歳以上

## 居住地

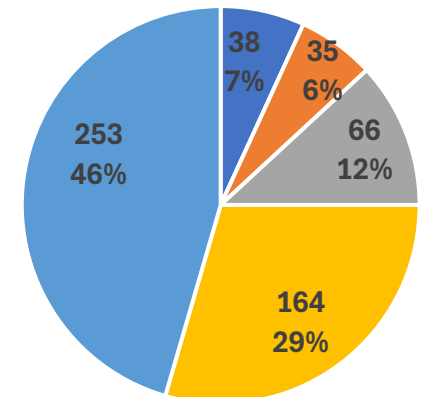
n=551



■ 1丁目 ■ 2丁目 ■ 3丁目  
 ■ 4丁目 ■ 5丁目 ■ 6丁目

## 居住年数

n=556

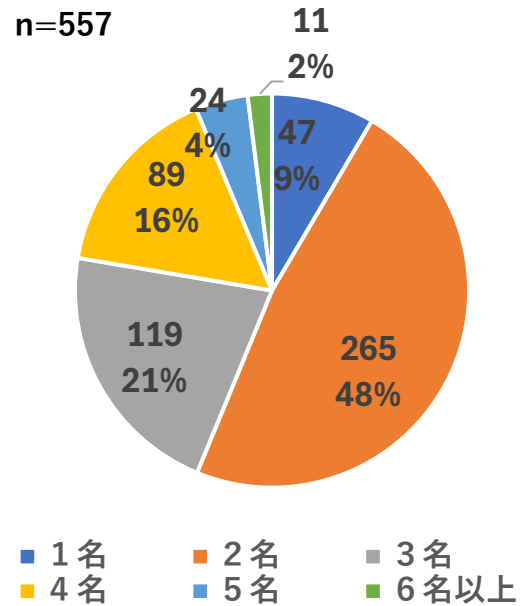


■ 5年未満 ■ 5年以上10年未満  
 ■ 10年以上20年未満 ■ 20年以上30年未満  
 ■ 30年以上

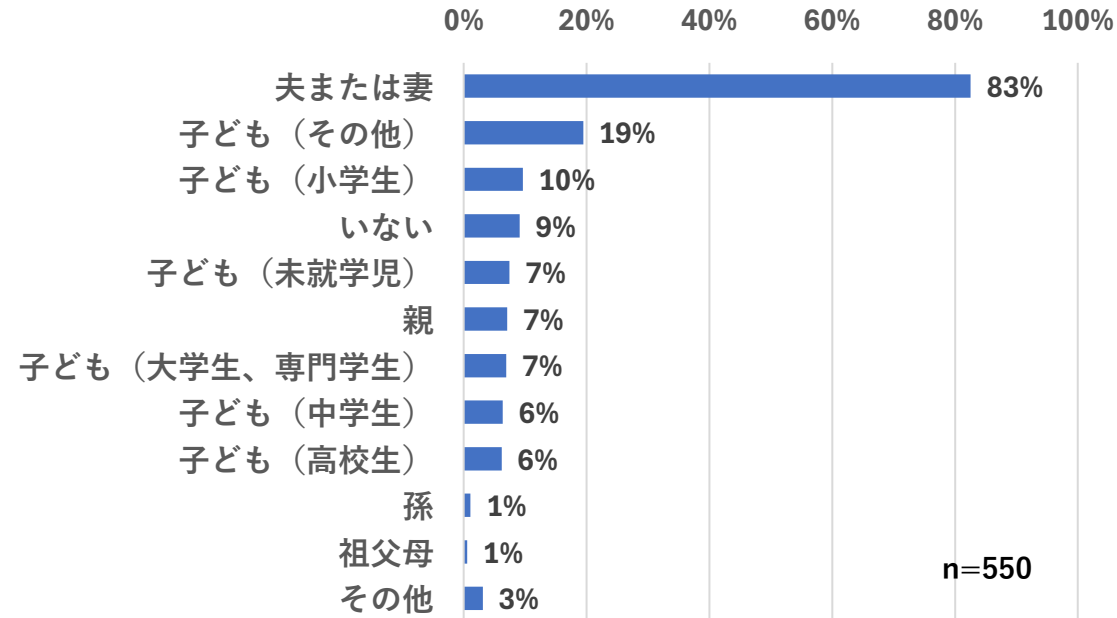
# 同居家族の特性

- 1人住まいが約1割、夫婦などの2人住まいが約半数、3人以上が約4割を占める
- 家族の中に65歳以上の方がいる家族が全体の約6割を占める

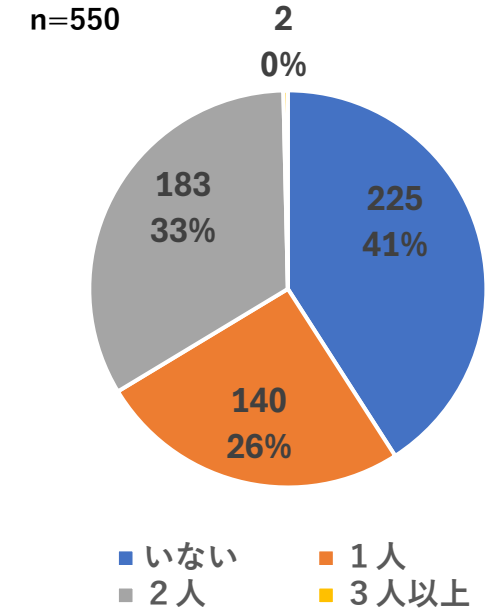
## ■ 同居家族の人数



## ■ 同居家族



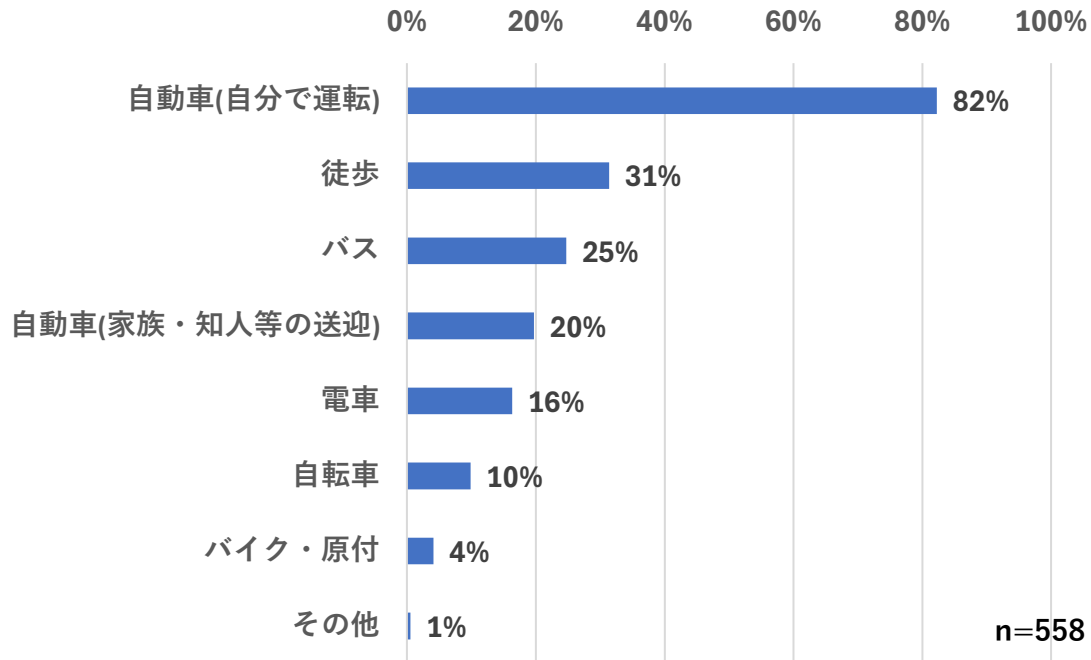
## ■ 65歳以上の方の人数



# 移動手段・携帯電話の保有状況

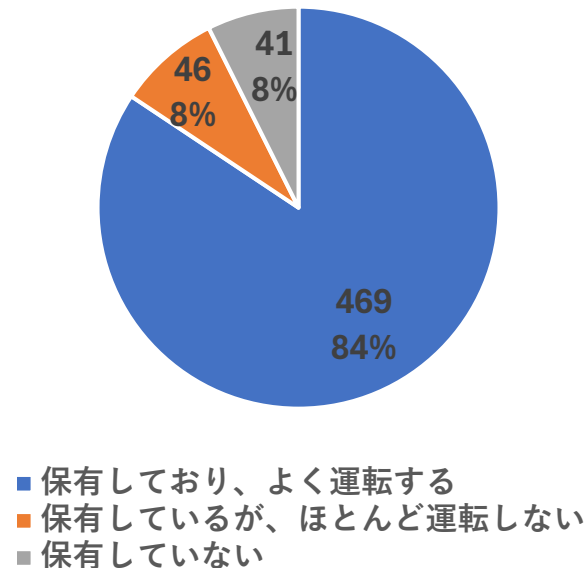
- 主な移動手段のうち、自動車（自分で運転）を選択した人が8割以上であり、バスや電車はそれぞれ2割程度であった
- 携帯電話は、ほとんどの人が保有している結果となった

## ■ 主な移動手段



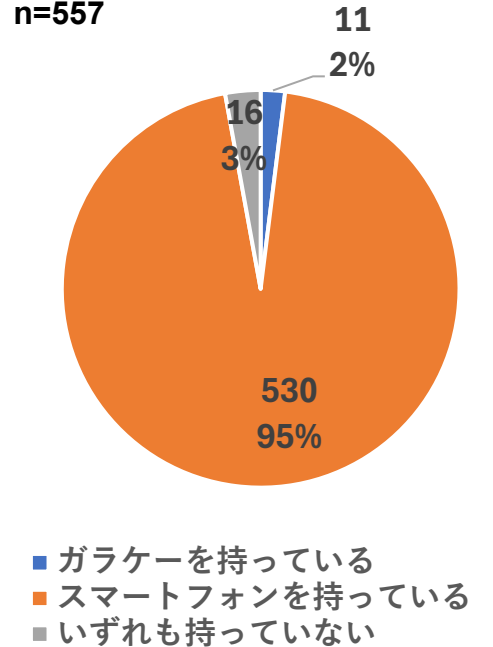
## ■ 運転免許証の保有状況

n=556



## ■ 携帯電話の保有状況

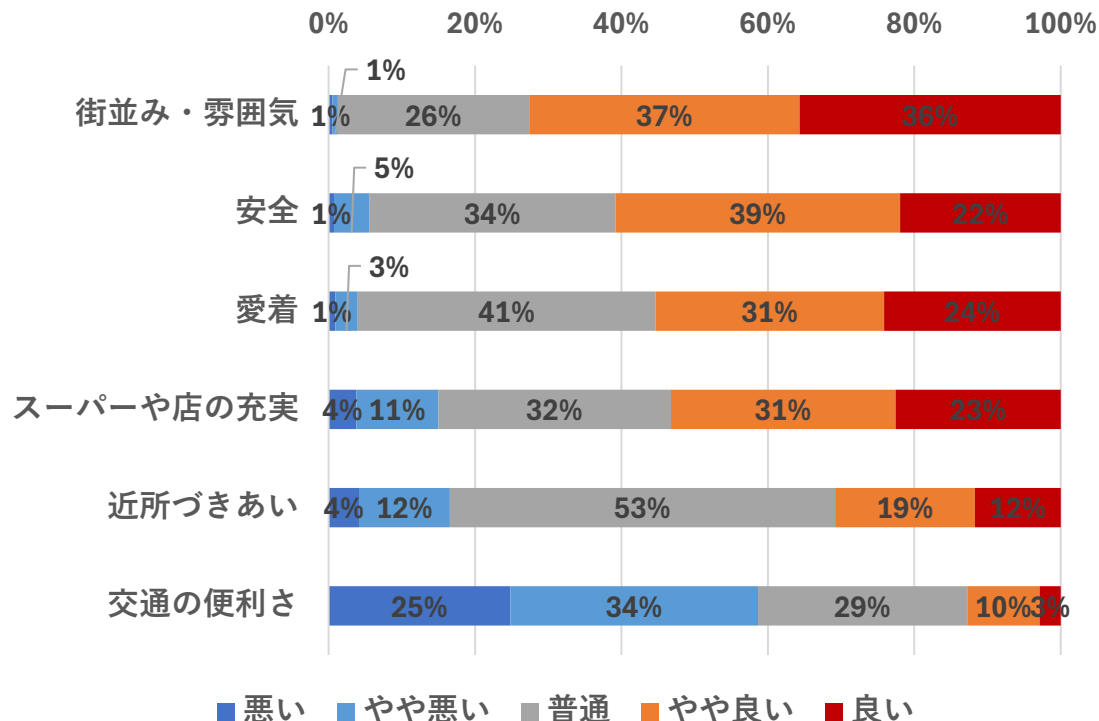
n=557



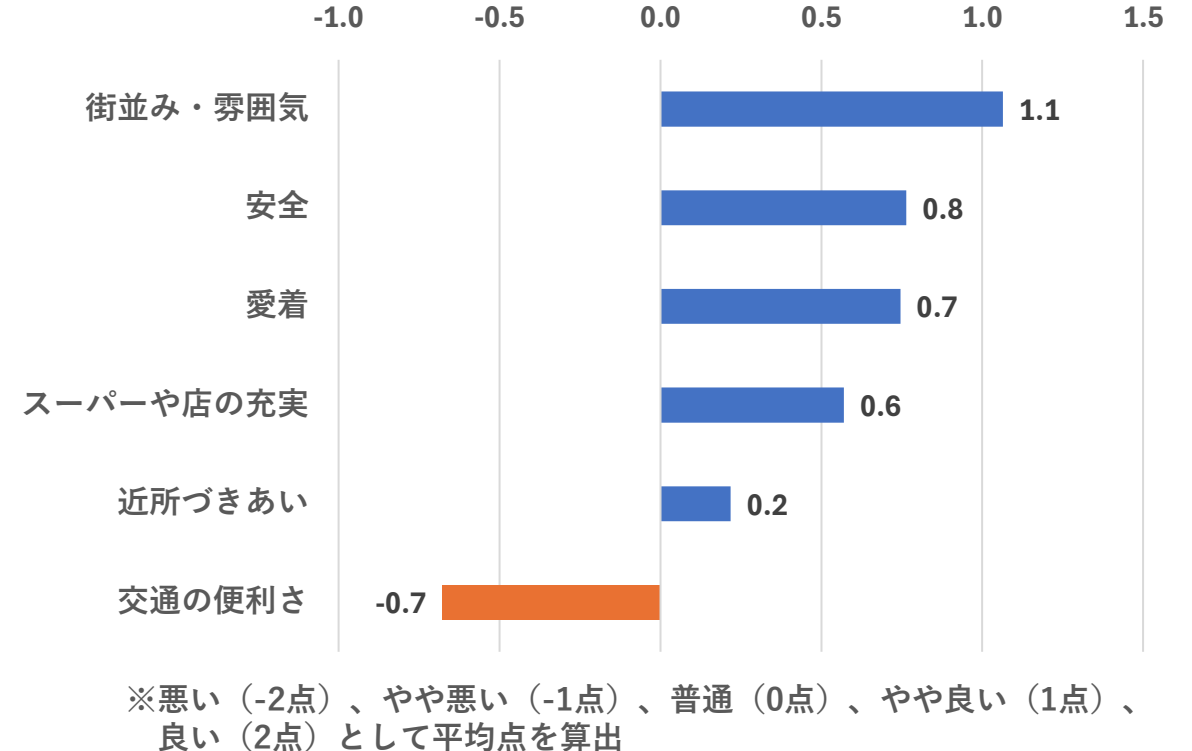
# 青山のまちのイメージ

- 「街並み・雰囲気」「安全」「スーパーや店の充実」「愛着」については半数以上が肯定的に捉えておりポイントも高くなっているが、「交通の便利さ」「近所づきあい」はポイントが低くなる結果となった
- 特に、「交通の便利さ」において「悪い」「やや悪い」を選択していた人が半数以上を占める

## ■ 私たちが暮らす「青山」の全体イメージ (回答割合)



## ■ 私たちが暮らす「青山」の全体イメージ (ポイント)

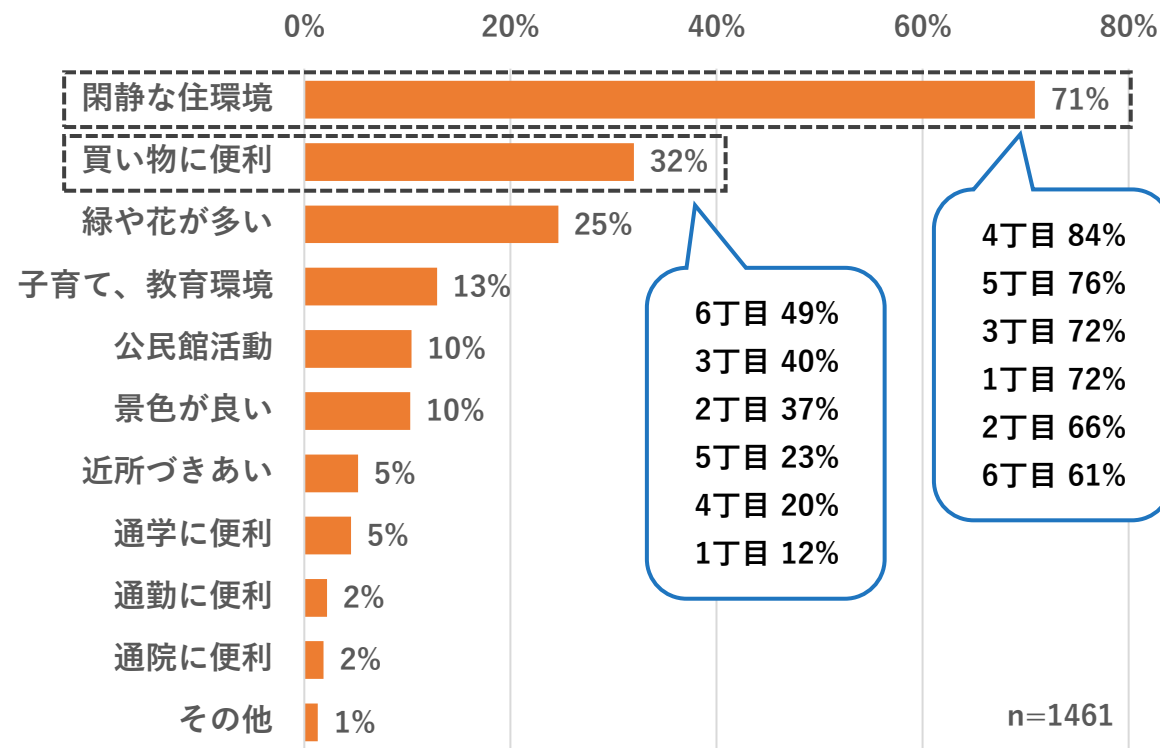
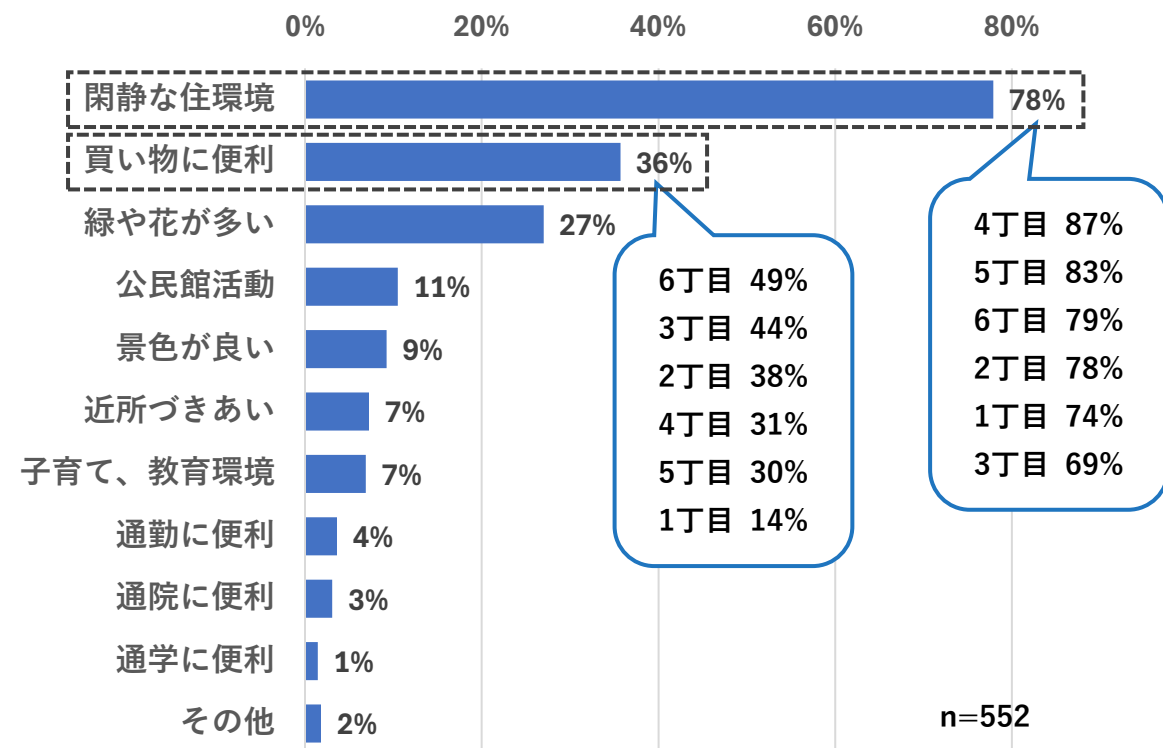


# 青山の良い点（満足な点）

(H27調査との比較)

- 青山の良い点として「閑静な住環境」を約8割が選択しており、その他「買い物に便利」「緑や花が多い」の回答が多くなった
- H27年調査時と比較すると、青山の良い点の傾向としては同様であった

## ■ 青山の良い点、満足な点（2つ以内）

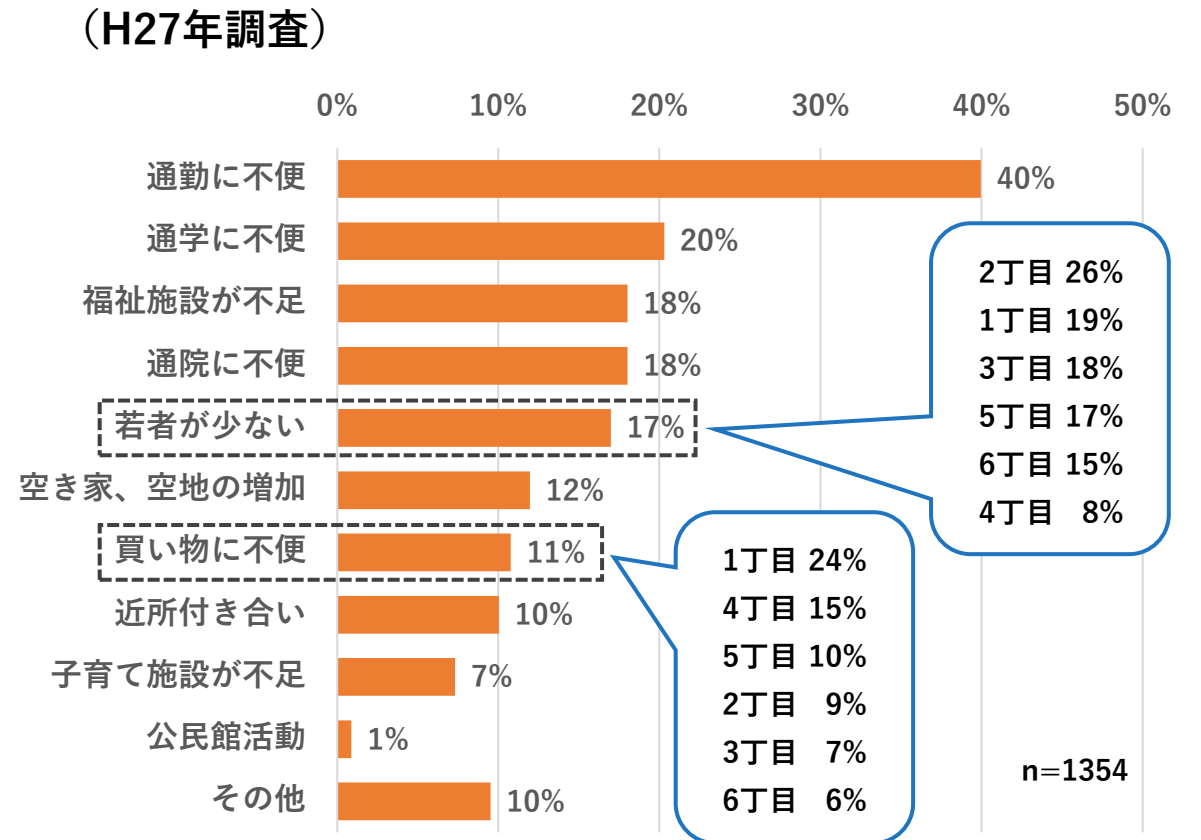
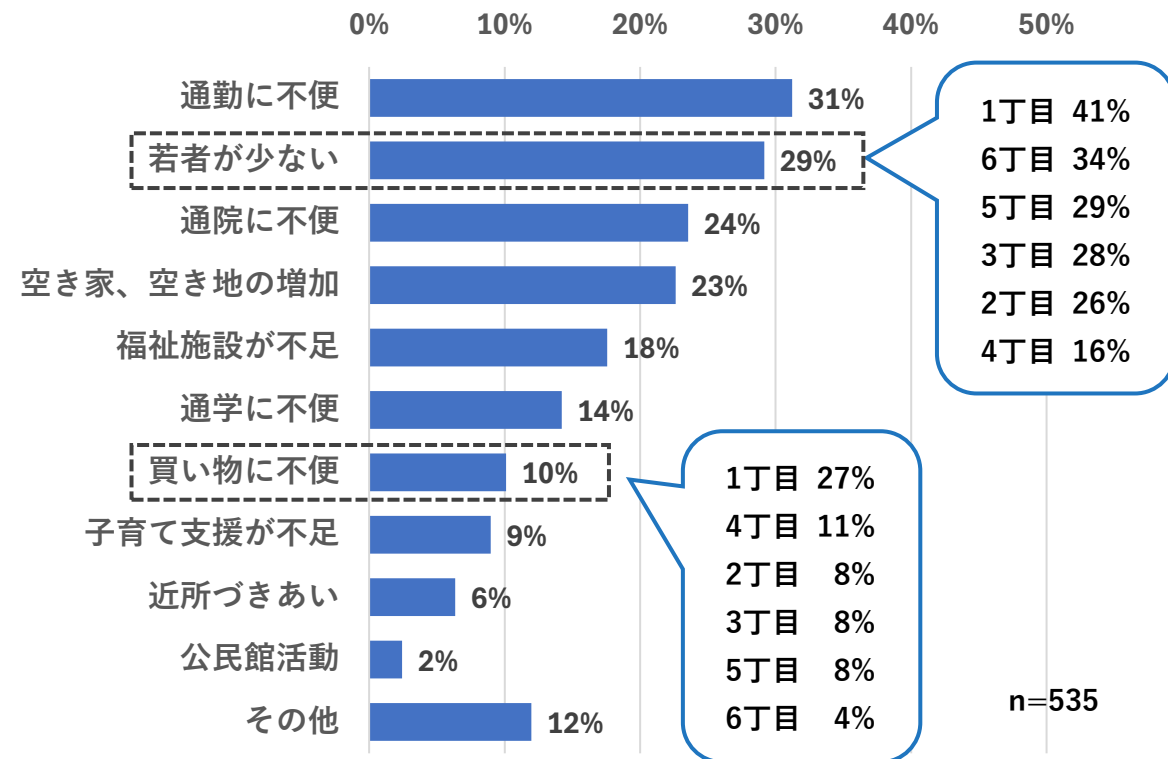


# 青山の悪い点（不満な点）

(H27調査との比較)

- 悪い点としては「通勤に不便」「若者が少ない」「通院に不便」「空き家、空き地の増加」等の回答が多くなった
- H27年調査時と比較すると「若者が少ない」という問題意識が高まっている

## ■ 青山の悪い点、不満な点（2つ以内）



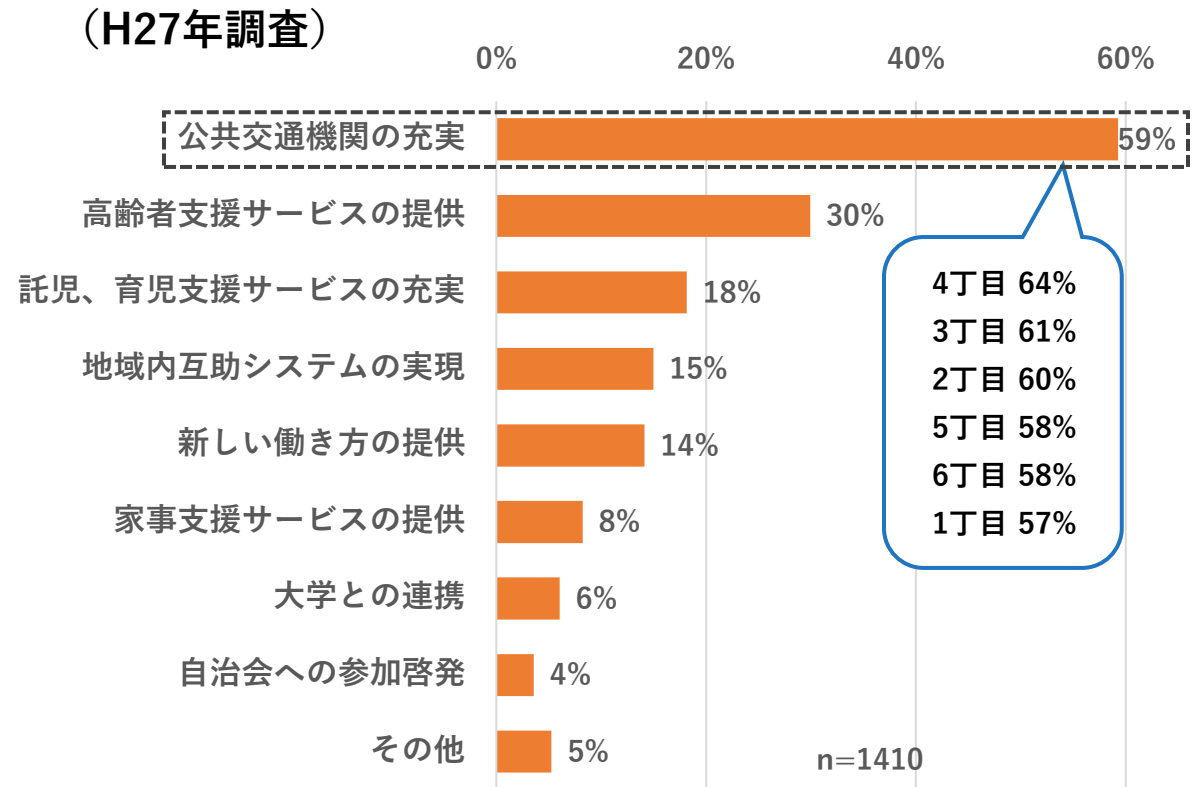
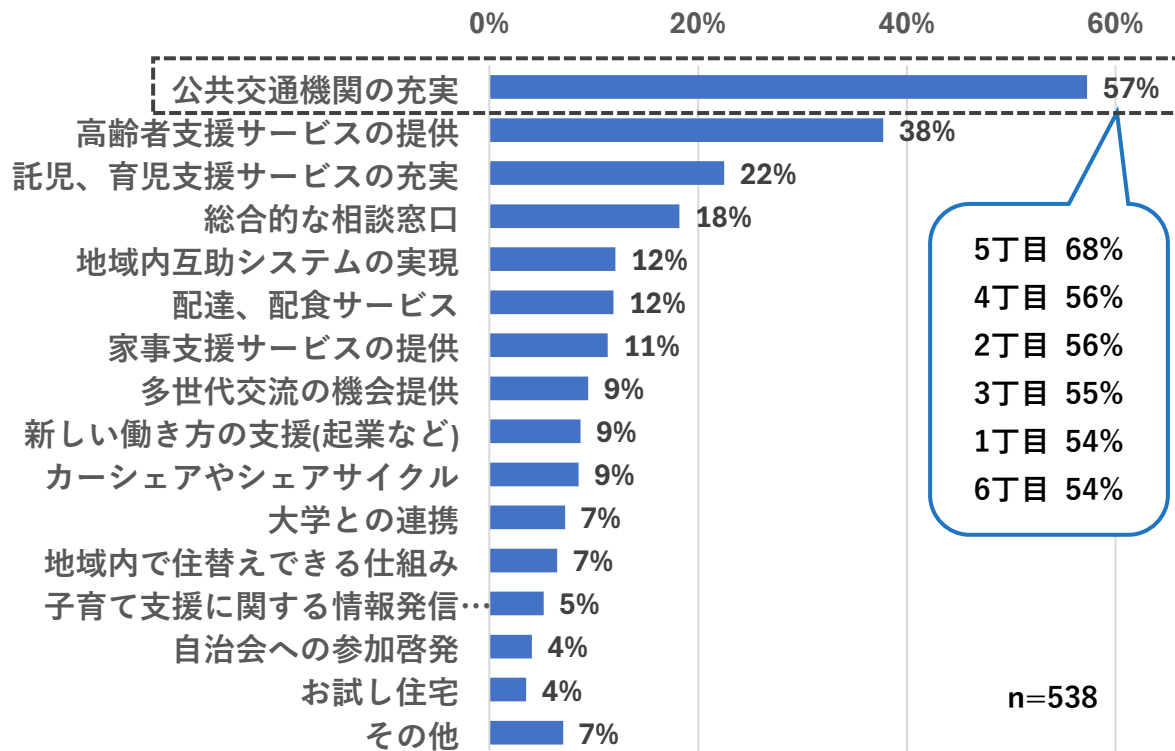


# 必要なサービス

(H27調査との比較)

- 魅力ある街にするために必要なサービスとして、約6割が「公共交通機関の充実」を選択している
- H27年調査時と比較すると、「公共交通機関の充実」は継続的な課題となっている

## ■ 魅力ある街にするために、必要なサービスや取り組み (3つ以内)

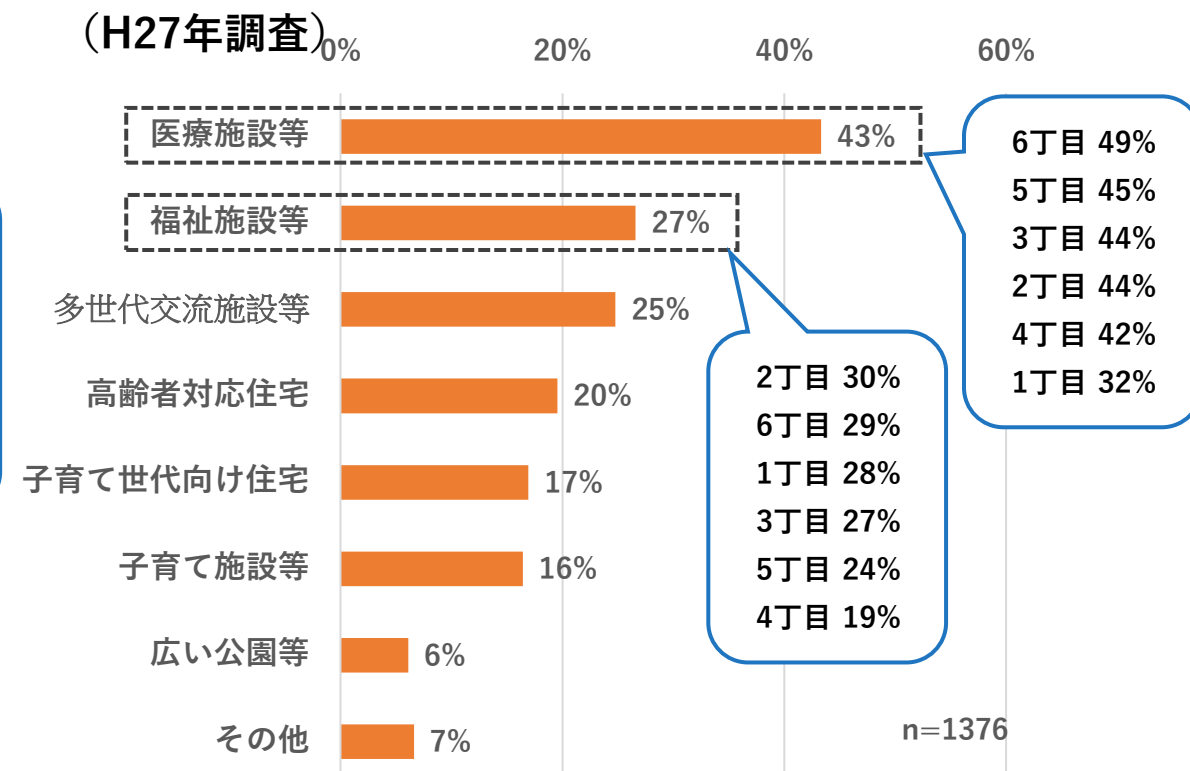
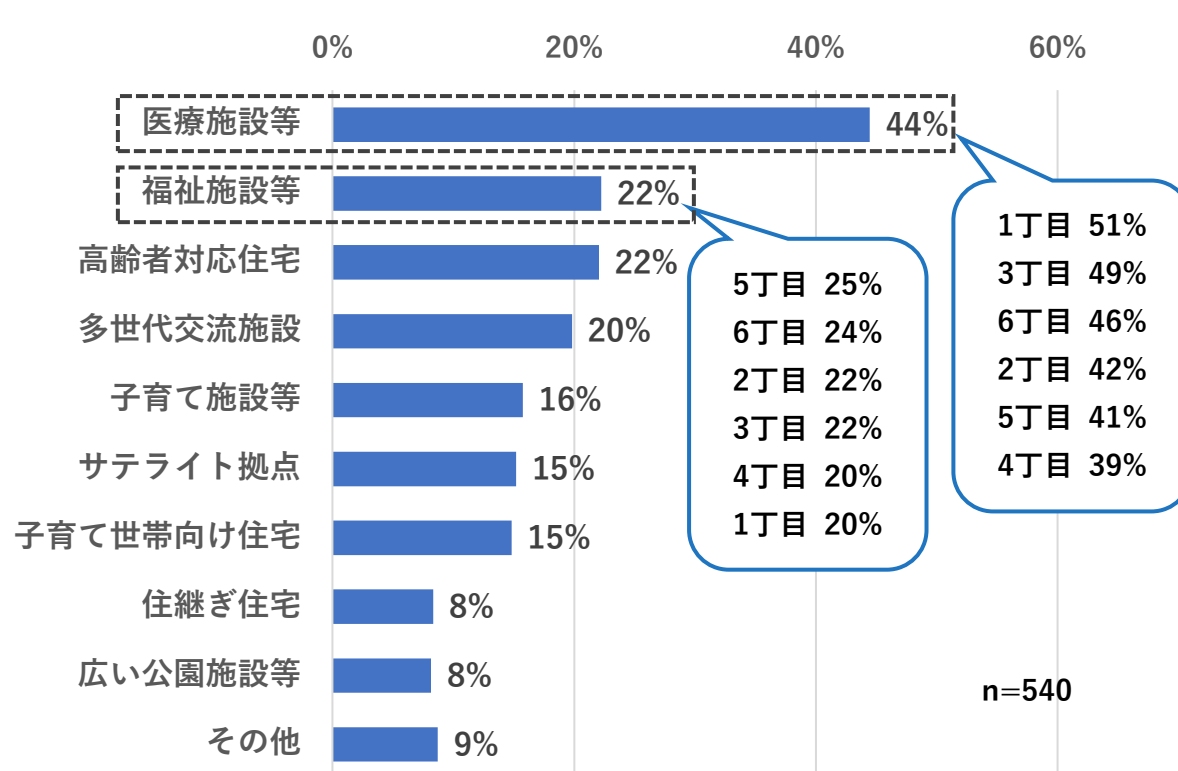


# 必要な施設

(H27調査との比較)

- 必要な施設としては「医療施設」が最も多く、約4割が選択している
- H27年調査時と比較すると、上位は同様であるが「高齢者対応住宅」の需要が高まっている

## ■ 魅力ある街にするために、必要な施設（2つ以内）

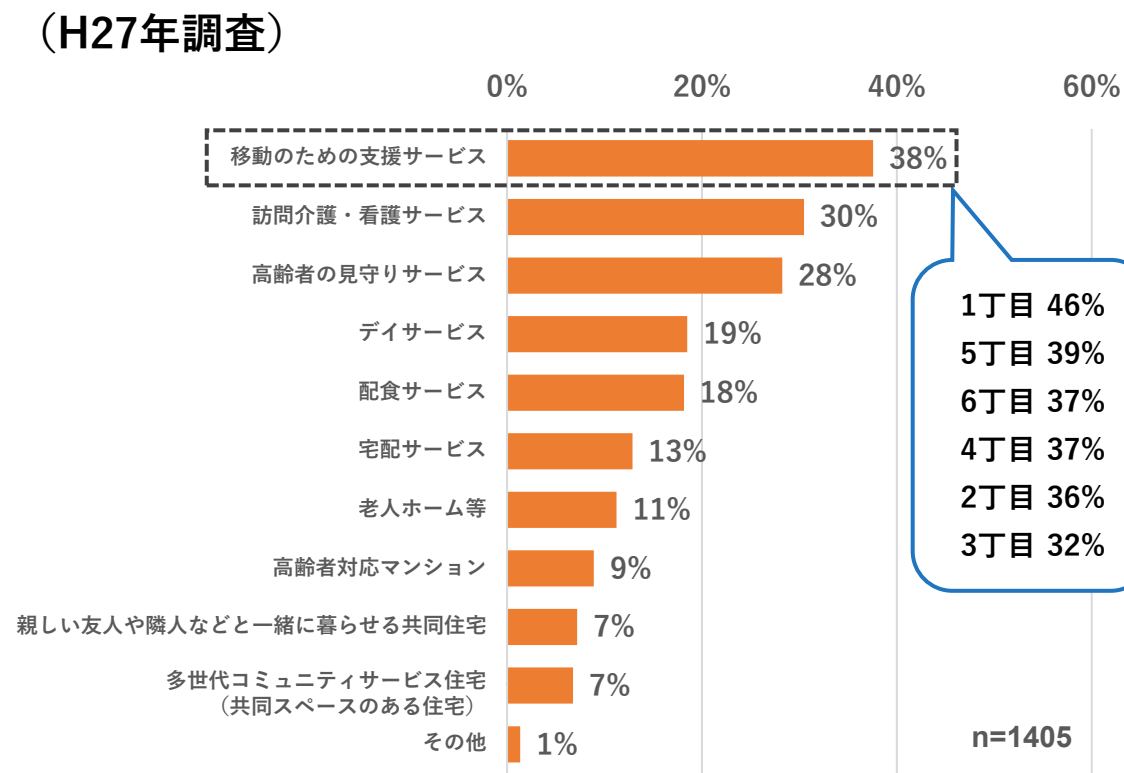
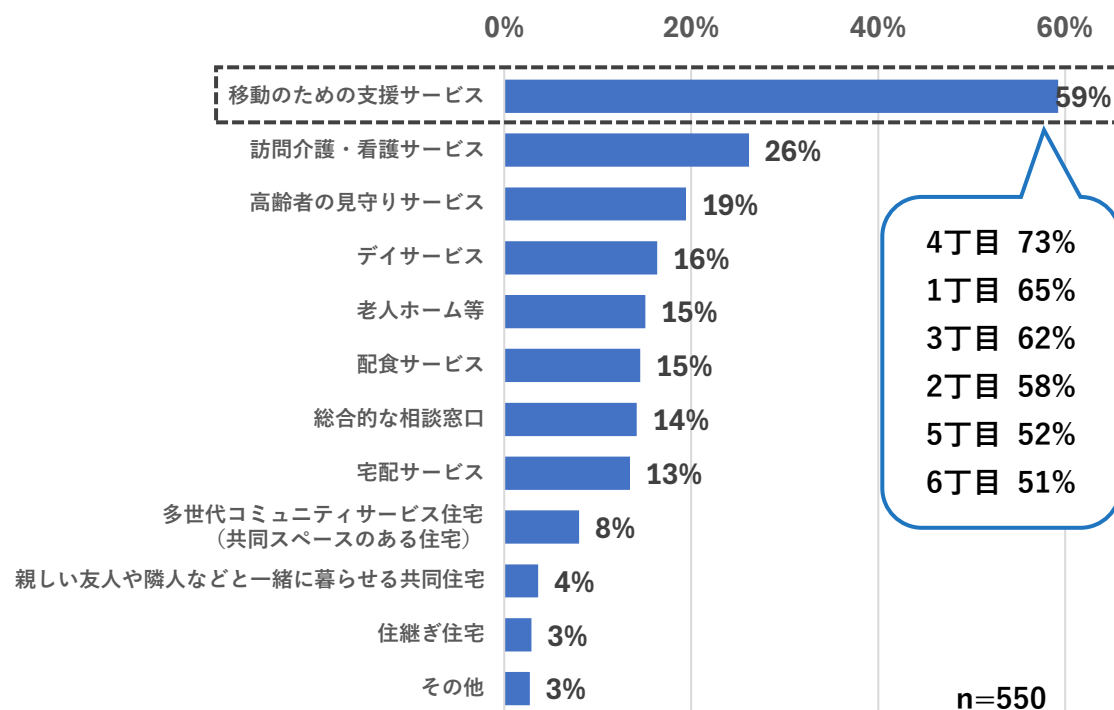


# 高齢になった際に必要なサービス・施設

(H27調査との比較)

- ・ 高齢になった際に必要なサービスとして、約6割が「移動のための支援サービス」と回答している
- ・ H27年調査時と比較すると、「移動のための支援サービス」の需要が高く、傾向は同様であった

## ■ 高齢になった際に必要なサービス、施設 (2つ以内)

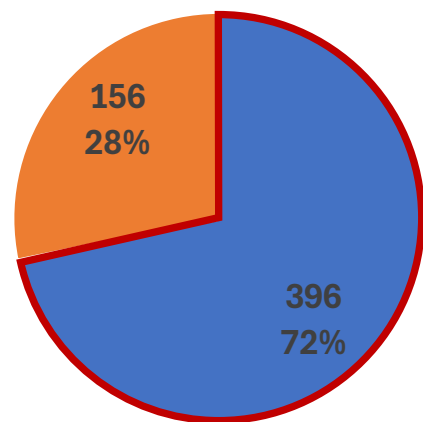


# 青山7丁目交流施設

- 約7割が青山7丁目交流施設を知っており、広く認知されていることがわかった
- 青山7丁目での取り組みに対して期待感を持っている人が約8割を占め、期待できる取り組みとして「カフェ等飲食店」「総合的な相談窓口」「行政ステーション」への回答が多かった

## ■ 青山7丁目交流施設について知っているか

n=552

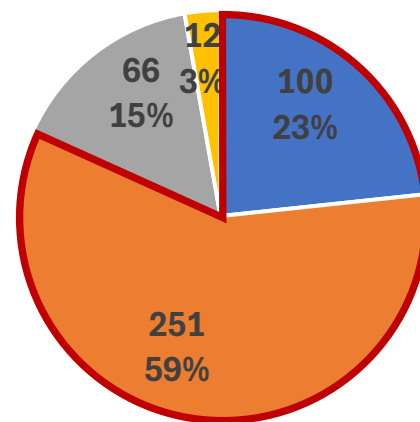


■ 知っている ■ 知らない

## ■ 青山7丁目交流施設への期待感

※前問で「知っている」を選択した方及び、広報誌にて施設概要を確認した方のみ回答

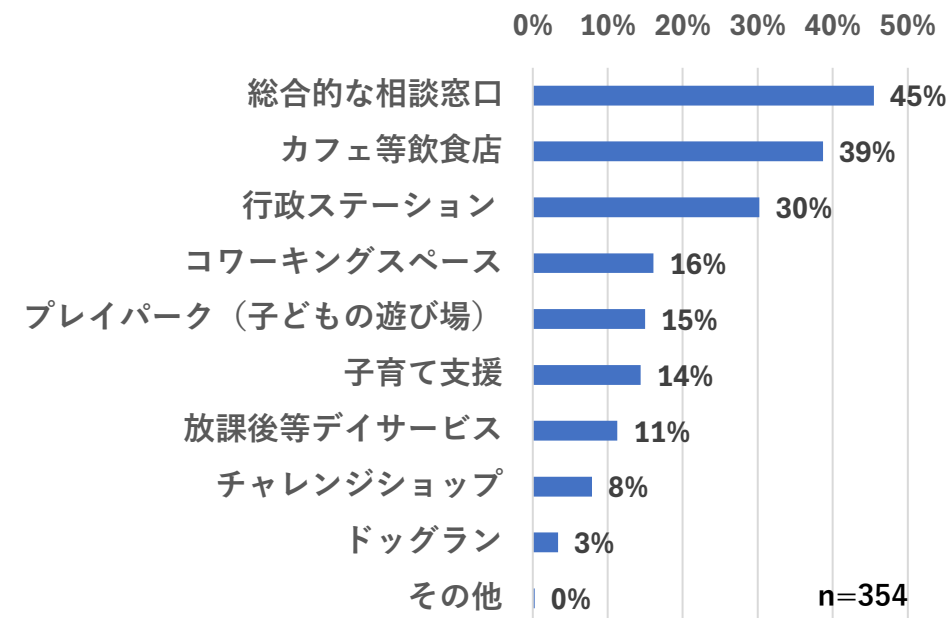
n=429



■ 期待できる ■ やや期待できる  
■ あまり期待できない ■ 期待できない

## ■ 期待できる取り組み（2つ以内）

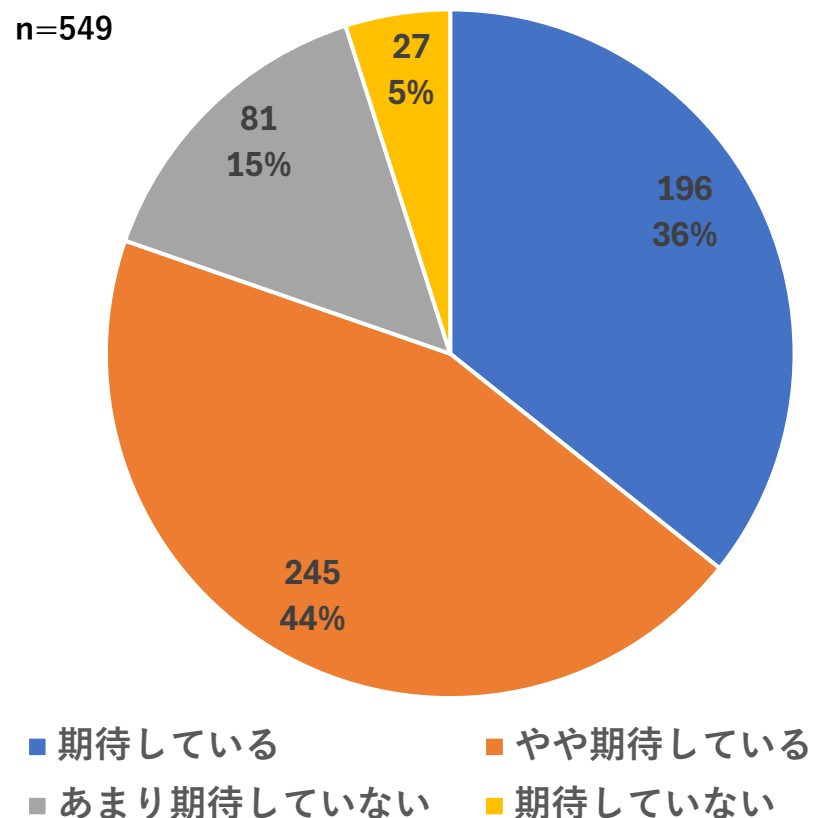
※前問で「期待できる」「やや期待できる」を選択した方のみ回答



# みらまち機構への期待感

- ・ みらまち機構が団地再生に向けて取り組むことに対して「期待している」「やや期待している」と回答した人が8割を占める

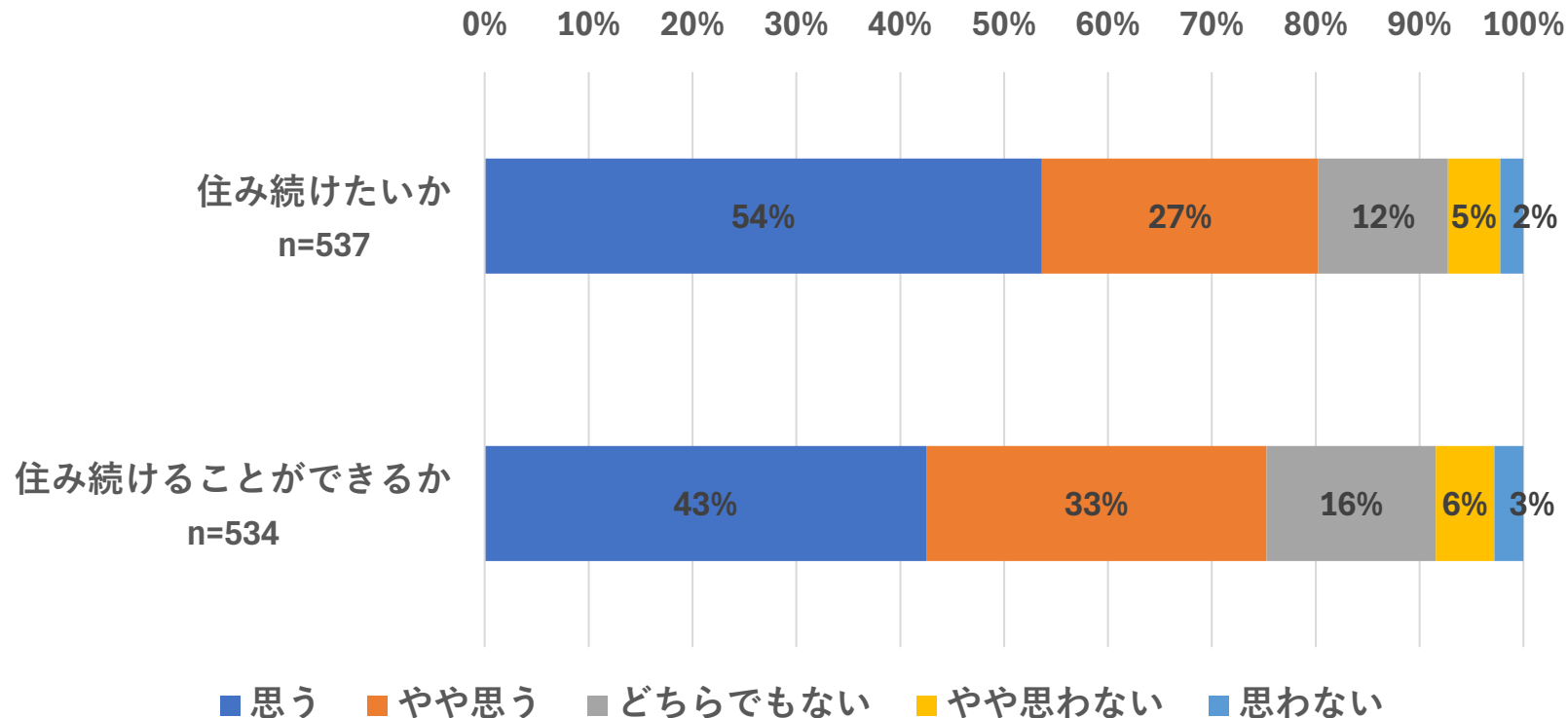
## ■ みらまち機構への期待感



# 今後の居住意向

- ・ 今後も住み続けたいという希望を持つ人が5割以上いる一方で、住み続けることができると考えている人は約4割となっている

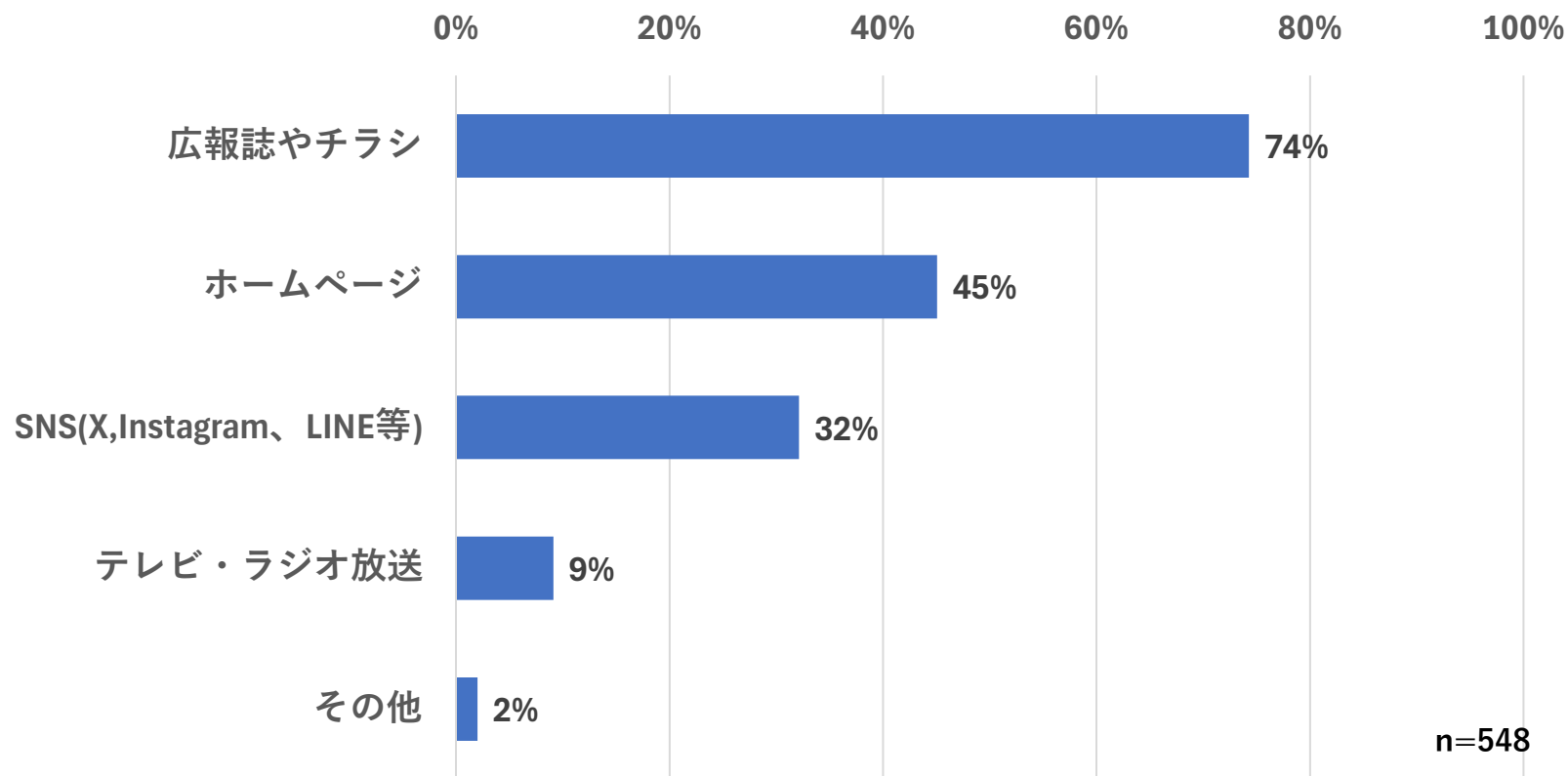
## ■ 今後も青山に住み続けたいか／今後も青山に住み続けることができるか



# 望ましい情報発信方法

- 「広報誌やチラシ」による情報発信が望ましいという回答が最も多く、約7割が選択している。
- 次いで、「ホームページ」「SNS（X,Instagram,LINE等）」への回答が多くなっている

## ■ 望ましい情報発信方法



# 自由意見（自由記述欄の要約）

## 1. 交通

- 交通機関の充実が求められている。特に青山からのアクセス（バス、電車、道路の整備）が不便との意見が多く、三宮、西神、明石方面などへの直通バスの増便や、高規格道路の整備が必要とされている。
- バスの便数や時間帯の改善、夜間の運行延長を求める声もあり、公共交通機関の利便性向上が求められている。

## 2. 医療・福祉

- 小児科や産婦人科、介護施設が不足しており、特に小児科へのアクセスが不安との意見が多い。
- 高齢者向けの福祉施設や交通手段が重要であり、車を使えない高齢者の移動手段確保が求められている。

## 3. 安全・治安

- 治安対策として、特に防犯カメラの強化を求める声が多い。
- バイクや車の騒音、治安の悪化に対する不安もあり、地域全体での防犯意識の向上が必要とされている。

## 4. 子育て支援と教育

- 子育て世代への支援、特に子どもが安全に遊べる公園の整備や学童保育、公共施設の充実が求められている。
- 幼稚園や学校の減少に対する不安もあり、子どもが育てやすい環境の整備が急務である。

## 5. 自治会・地域活動

- 自治会の負担が重く、特に役員活動に参加することへの抵抗感が表明されている。活動のデジタル化や効率化を求める声も多く、若い世代の参加を促すことが求められている。
- 一部の人々による地域活動の運営や、利益を追求する姿勢に対する批判もある。



# 自由意見（自由記述欄の要約）

## 6. 商業施設・街づくり

- 商業施設の充実（特に飲食店や複合施設）や、空き地の有効活用が望まれている。また、地域全体の活性化に向けた取り組みとして、定期的なイベントの開催や交流の場の設置が提案されている。
- 高齢化と人口減少を見越し、若者世代をターゲットにした街づくりが重要とされている。

## 7. 高齢化対策

- 高齢化に対する不安の声が上がっており、これに対応するための施策（福祉、医療、交通手段の充実）が求められている。
- 高齢者が住みやすい環境づくりとともに、若い世代も住みやすい町にするための取り組みが必要とされている。

## 8. 環境整備

- 道路の整備（特に都心部に繋がる道路）、街灯の増設や公園の清掃・整備に関する意見が多い。また、街の美化や清掃活動の強化を求める声もある。

## 9. 地域のつながりと交流

- 地域の交流を促進するため、定期的な催しや、多世代が交流できる場（市民農園や教育山林など）の設置が提案されている。
- 近隣住民との関わりを深めるための施策として、挨拶や気軽なコミュニケーションができる環境作りが求められている。

## 10. 住民の意見と参加

- アンケートの実施方法や結果に対する疑問が示されている。過去のアンケート結果との比較や、改善点の報告が求められており、今後の施策に反映させることが重要だとされている。

# まとめ

## 【良い点】

- 街並みや雰囲気が良い、安全である等、閑静な住環境
- スーパーや店が充実しており、買い物に便利

## 【課題点】

### 公共交通の利便性向上

- 三宮や大阪など都心部へアクセス向上
- 駅や高校へ行くための地域内を走るバスの増便

### 高齢者と若い世代の両方が住みやすいまちづくり

- 高齢者の移動の足の確保
- 子育て支援の充実化や小児科、公園の整備
- 自治会活動の見直し

### 医療・福祉施設、商業施設の整備

- 要介護時に備えた医療・福祉施設の拡充
- 飲食店や複合施設の誘致